

平成 26 年 4 月 14 日

関係高等学校長 様

千葉県高等学校教育研究会  
視聴覚部会長 本城 学  
(公印省略)

## 第 6 1 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト千葉県大会のご案内

千葉県大会について、下記のように開催を予定しています。校務御多忙中のところ誠に恐縮ですが、多数の参加をいただきたく、御案内申し上げます。

### 記

1. 目的 現代に生きる高校生の豊かな人間性の育成と、未来への展望をもつ人間としての成長をめざし、校内放送活動をメディアリテラシーの実践として位置づけ、情報発信としての放送活動の発展をはかる。
2. ねらい (1) 美しく豊かな日本語を大切にする心情を育て、あわせて話す力、表現する力を高める。  
(2) 情報発信者としての自覚を高め、あわせて創造性を育てる。  
(3) 社会との関わりに目を向け、放送の果たす役割を学ぶ。  
(4) 人間尊重の心を培い、国際理解を深める放送の働きを確かめる。  
(5) 学園生活の中にあるおいを育て、心のふれあいの場をつくる。
3. 研究主題 「私たち高校生と放送」  
高校生の連帯、先生方とのきずな、地域や社会への結びつきを、日常生活の中で考え、主体的に放送活動に展開すること。
4. 主催 千葉県高等学校教育研究会 視聴覚部会  
N H K 千 葉 放 送 局
5. 後援 千葉県教育委員会  
千葉県高等学校長協会  
千葉県私立中学高等学校協会 (申請中)
6. 実施部門  
(1) 研究発表部門 (2) アナウンス部門 (3) 朗読部門  
(4) ラジオドキュメント部門 (5) テレビドキュメント部門  
(6) 創作ラジオドラマ部門 (7) 創作テレビドラマ部門
7. 参加資格及びその制限  
(1) 2014 年 5 月現在、千葉県内の高等学校等に在籍中の生徒及びその作品であること。  
(2) アナウンス部門・朗読部門では、1 名 1 部門の参加とします。  
※ 昨年度の県代表生徒が同じ部門に参加する場合(シード)は、予選が免除されます。  
(3) 研究発表部門・番組各部門では、1 部門に 1 校 1 作品の参加とします。  
(4) 番組制作の各部門は、高校生の創作に限ります。また、他のコンテスト・コンクールなどに参加した作品、およびそれを改変した作品の参加は認めません。

## 8. 会場・期日

### (1) アナウンス部門、朗読部門 予選 (公開)

\* 61回大会では、千葉県内を3つのブロックに分け、予選を行います。

ブロック	A 地区予選	B 地区予選	C・D・E 地区合同予選
日 時	平成 26 年 6 月 2 日(月)	平成 26 年 6 月 13 日(金)	平成 26 年 6 月 11 日(水)
会 場	千葉県立 幕張総合高等学校 (千葉市美浜区若葉 3-1-6)	昭和学院高等学校 (市川市東菅野 2-17-1)	東京情報大学 千葉ステーションキャンパス (千葉市中央区新町 18-10)
参加申込締切	平成 26 年 5 月 26 日(月)	平成 26 年 5 月 26 日(月)	平成 26 年 5 月 26 日(月)
参加申込先	千葉県立千葉西高等学校 小林 加代子 宛	千葉県立小金高等学校 宇野 智之 宛	市原中央高等学校 岡本 斎彦 宛

\* 各学校が所属する地区については、別紙の千葉県高等学校教育研究会視聴覚部会 地区割り一覧をご確認下さい。

\* 参加申込締切は、ブロックに関係なく、5月26日(月)になります。

#### <参加申込先>

##### ○ A 地区予選 5月26日(月)必着

千葉県立千葉西高等学校 小林 加代子 宛 k.kbysh122@chiba-c.ed.jp  
電話番号 043 (277) 0115 Fax 番号 043 (277) 3924

##### ○ B 地区予選 5月26日(月)必着

千葉県立小金高等学校 宇野 智之 宛 tomo@unono.com  
電話番号 047 (341) 4155 Fax 番号 047 (349) 2030

##### ○ CDE 地区合同予選 5月26日(月)必着

市原中央高等学校 岡本 斎彦 宛 nconmousikomi@gmail.com  
電話番号 0436 (36) 7131 Fax 番号 0436 (36) 7141

- ① 参加申込書(エクセル形式)を千葉県大会ホームページ(12.参照)よりダウンロードし必要事項を記入の上、上記予選参加申込先宛、参加申込締切必着で、添付ファイルで提出して下さい。参加申込先のアドレスは上記をご覧下さい。
- ② 予選参加者数の学校ごとの制限はありません。アナウンス部門と朗読部門の予選を行い、各部門において県大会本選進出者を決定します。本選進出者の選考では、同一校から選出される生徒数は、各部門それぞれ3名以下とします。合同予選では、各地区から本選進出者が選ばれるように配慮し、場合により審査員の協議を経て、本選エントリー数の若干数の増減を認めます。
- ③ 予選の日程(予定)は 10時～16時30分、受付 9時30分～10時、予選開始 10時とします。
- ④ 原稿2部と参加費(1人につき1500円)を予選当日に持参し、受付に提出して下さい。  
\* 当日欠席した場合でも、申し込んだ人数分の参加費は申し受けます。  
\* シード=前年度の県代表者が同一部門に参加する場合は、予選で審査を行わず県大会本選に進出します。申込時、用紙のシード欄に必要事項を、備考欄に参加部門名を記入して下さい。
- ⑤ アナウンス部門予選では、1分10秒以上1分30秒以内の原稿をアナウンスします。
- ⑥ 朗読部門予選では、1分30秒以上2分以内の原稿を朗読します。
- ⑦ 審査は予選参加校顧問および主催者が委嘱した審査員が行います。
- ⑧ 全国大会に推薦された場合、アナウンス原稿の内容を入力したデータを後日提出します。
- ⑨ 会場の駐車場には限りがあるため、お越しの際は、公共の交通機関を利用されるか、近隣の有料駐車場をご利用頂けるよう、ご協力をお願いします。

(2) 研究発表部門、番組部門 予選 (公開)

ブロック	予選日時	予選会場	予選参加申込先
全県一斉	平成 26 年 6 月 9 日(月)	NHK 千葉放送局	木更津総合高等学校 高澤 芳弘

\* 予選の会場(NHK 千葉放送局)

住所：千葉市中央区千葉港 5-1【京葉線千葉みなと駅徒歩 5 分】電話：043-203-1001

<参加申込先> 5月30日(金)必着

○ 木更津総合高等学校 高澤 芳弘 宛 yoshihiro@y-takazawa.info  
電話番号 0438 (30) 5524 Fax 番号 0438 (30) 5710

- ① 参加申込書(エクセル形式)を千葉県大会ホームページ(12.参照)よりダウンロードし必要事項を記入の上、上記予選参加申込先宛、5月30日(金)必着で、添付ファイルで提出して下さい。参加申込先のアドレスは上記をご覧下さい。
- ② 予選の日程(予定)は 10時30分～16時30分、受付 10時～10時30分、予選開始 10時30分とします。
- ③ 研究発表要旨 2部または番組作品(本編とバックアップ)と番組進行表 2部、及び参加費(1作品につき 1500円)、研究発表部門は研究要旨を入力したデータ、ドキュメント部門は制作意図を入力したデータ、創作ドラマ部門は制作意図とあらすじを入力したデータ等(入力データは、USBメモリーに記録する。複数の作品を提出する場合は、データ等を 1つの USBメモリーにまとめる)を、6月9日(月)予選当日 10時30分までに顧問の責任で予選会場に持参し、受付に提出して下さい。作品・番組進行表は、作品ごとに封筒に入れて提出して下さい。封筒の表面には、参加部門名、学校名、作品名を明記して下さい。
- ④ 提出時刻に遅れた作品は失格とする場合があります。
- ⑤ 審査は予選参加校顧問および主催者が委嘱した審査員が行います。
- ⑥ 会場の広さに限りがあるため、番組予選に参加(見学を含む)する生徒の人数は、各校 10名までとします。ご協力をお願いします。

(3) 本 選 (公開) 6月25日(水) 10時～17時 会場 千葉県教育会館大ホール  
住所：千葉市中央区中央 4-13-10 電話：043 (227) 6141

- ① 本選の日程(予定)は 10時～17時、受付 9時10分～9時40分、予選開始 10時とします。受付では、出欠確認ならびにプログラムの配布を行います。
- ② アナウンス部門、朗読部門では、予選で選出された生徒にシード(昨年度の県代表生徒が同じ部門に参加する場合)の生徒を加え、部門ごとに発表・審査をし、千葉県代表を決定します。
- ③ 研究発表部門、番組部門では、予選で選出された作品を部門ごとに発表・審査をし、千葉県代表を決定します。
- ④ 全国大会への推薦数は以下の通りです。(数字は県から推薦できる最大数)

アナウンス部門、朗読部門：各 6 名  
創作ドラマ部門：各 2 作品

ドキュメント部門：各 4 作品  
研究発表部門：2 作品

## 9. 審 査 主催者が委嘱した審査員が行う。

審査員は、主催者が委嘱した専門審査員(NHK 職員等)と教員審査員から構成されます。予選審査については参加校の顧問を中心に行います。採点は、校内放送として望ましいあり方に重点をおきます。

## 10. 参 加 費 各部門、1名または1作品につき、1,500 円です。

全国大会に推薦された場合には、全国大会参加費の半額( アナウンス・朗読部門：1名につき2000 円、番組部門：1 作品につき 3000 円、研究発表部門：1500 円 )を本選終了後に徴収します。

## 11. 参加作品の著作権および個人情報

- (1) 参加作品の著作権は、制作者(応募した学校)と主催者に共同して帰属します。応募された作品などは、主催者に関連する印刷媒体、ホームページ、放送などで利用されることがあります。
- (2) 当コンテストのために集められた個人情報については、コンテストの目的以外には使用しません。

## 12. 参加申込書ならびに参加規定の掲載

- (1) 千葉県大会各部門の参加申込書は、千葉県大会ホームページ  
<http://homepage3.nifty.com/ncon-chiba/> よりダウンロードして入手して下さい。
- (2) 全国大会の参加規定等を掲載した校内放送研究 163 号は、コンテストホームページ  
<http://www.nhkk.or.jp/> よりダウンロードして入手して下さい。

## 13. その他

- (1) アナウンス部門・朗読部門の成績上位者の中から、第 96 回全国高等学校野球選手権千葉大会 開会式(7 月 11 日)・閉会式(7 月 26 日)の司会担当を選出します。
- (2) 全国大会終了後、校内放送活動研究協議会(職員対象)を行います。千葉県大会に参加した学校の職員の皆さんは、上記研究協議会への参加にご協力下さい。研究協議会の日時・場所は別途ご連絡します。
- (3) 第 61 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会の日程は 7 月 21 日(月)~24 日(木)、会場は、国立オリンピック記念青少年総合センターならびに NHK ホールです。

## 14. 問い合わせ先 千葉県大会についてのご意見・ご質問は、以下までご連絡下さい。

成田高等学校 和泉 洋一 〒286-0023 成田市成田 27 番地  
電話番号：0476(22)2131 Fax 番号：0476(23)0234  
e-mail：narita\_housou\_izumi@yahoo.co.jp

## 第 61 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト千葉県大会参加規定

(詳しくは全国大会ホームページ <http://www.nhkk.or.jp/> よりダウンロードした『校内放送研究 163号』を参照して下さい。)

### 1. コンテスト各部門の規定

#### 研究発表部門

- 日常の校内放送活動の中から、問題解決の努力または技術的な創意工夫などを機材調整を含め **8分以内**で発表します。発表者は機器操作を含め **3名以内**とします。
- 発表内容は、校内放送に関するものに限り、問題解決の結論を重視するものとします。(校内放送の技術、機材、アナウンス・朗読の技術、番組の制作や編集の技術、部活動・委員会活動の運営方法など) **発表で使用するパソコンのデータは 5MB 以内**とする。
- コンテストの他部門にエントリーしている作品に関連する内容、または類似の内容であってはなりません。本年度のコンテスト参加作品の上映は、一部であっても認めません。
- 発表形式は、主にパソコンを使用したスクリーン1面によるプレゼンテーションとします。(2画面の投影はできません。)
- 発表時間内であれば、印刷物の配布をしても構いません。
- 発表で使用するアプリケーションソフトウェアは、PowerPoint2010、Word2010 (インターネットには接続できない)とします。使用機材はノートパソコン、MD-CD ラジカセ、DVD プレーヤー (パソコン本体のドライブ使用が望ましい)、マイク 2 本、レーザーポインターです。
- 参加申込みは 1 校 1 研究のみとします。
- **研究内容の要旨(研究の目的・方法論・結論をまとめたもの。A4 用紙 200 字程度) 2 部とそのテキストデータ(エクセル形式)を提出します。テキストデータは USB メモリーに記録して提出します。第 60 回大会では、番組進行表(A4 用紙、両面印刷はしない、左上を綴じる)も 2 部提出**します。**番組進行表(研究発表用)は校内放送研究 163 号様式 2-1～2-5 に従って作成**して下さい。(様式 2 はコンテストホームページよりダウンロードする。)
- 予選において発表を行い、県代表を決定します。本選においても発表を行う予定です。本選での発表は、大会運営上なくなることもあります。
- 県代表は全国大会において「校内放送研究発表会」で発表を行います。

#### アナウンス 部門

- 自校の校内放送に使用する内容とし、原稿は生徒が自作したものに限りません。
- **番号、氏名を含め 1 分 10 秒以上 1 分 30 秒以内**でアナウンスします。学校名は読みません。
- **原稿は校内放送研究 163 号様式 1 により、A4 用紙 2 つ折で作成し、2 部提出**します。(様式 1 はコンテストホームページよりダウンロードします。)
- 全国大会に推薦された場合、アナウンス原稿の内容を入力したデータを後日提出します。

#### 朗 読 部門

- 次の指定作品の中から 1 編を選び、朗読します。作品の改変は認めません。**作品の抽出は、文頭から開始し、文末で終了**とします。**文の途中からの開始や終了は改変と見なし失格**となります。本文中の( )内は、読み仮名や訳者注以外は読みます。

- |            |              |                |
|------------|--------------|----------------|
| ① 地獄変・偷盗   | 芥川 龍之介 作     | (新潮文庫)         |
| ② 残るは食欲    | 阿川 佐和子 作     | (新潮文庫)         |
| ③ 神去なあなあ日常 | 三浦 しをん 作     | (徳間文庫)         |
| ④ 怪談       | ラフカディオ・ハーン 作 | 平井 呈一 訳 (岩波文庫) |
| ⑤ 平家物語     |              |                |

- \* ①・②・④については、収録作品のいずれを選んでも構いません。①・④については選定した短編名を作品名として読みます。
- \* ②については、「残るは食欲」をタイトルとして読みます。
- \* ⑤(古典)については、現代語訳は不可です。出版社は問いません。
- \* 文章中の短歌・俳句は繰り返して読まないで下さい。

- 番号、氏名、作者名(訳者名は読まない)、作品名を含め1分30秒以上2分以内で朗読します。学校名は読みません。
- 原稿は校内放送研究163号様式1により、A4用紙2つ折で作成し、2部提出します。①～④については原稿表紙に、抽出部分の開始ページ数を記入します。(様式1はコンテストホームページよりダウンロードします。)

## 番組各部門

参加作品を地域番組や夏のラジオクラブ・テレビクラブなどで放送することがあります。また、イベントやホームページ等に利用することがあります。制作にあたっては、番組に登場する出演者、協力して頂いた方々などに利用のための許諾を得て下さい。許諾が得られないときには放送できないことがあります。

### (1) ドキュメント部門 (ラジオ・テレビ各部門)

- 高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオ・テレビの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切に、独創的な作品であること。
- 各1部門に1校1作品の参加とします。ラジオドキュメント部門・テレビドキュメント部門のそれぞれに参加することができます。(最大1校2作品)
- 番組進行表(A4用紙、両面印刷はしない、左上を綴じる)を2部提出します。番組進行表は校内放送研究163号様式2-1～2-4に従って作成して下さい。(様式2はコンテストホームページよりダウンロードします。ホームページには、番組進行表の詳しい書き方も掲載されています。)
- 制作意図を入力したデータをUSBメモリーに記録して提出して下さい。複数の作品を提出する場合は、データ等を1つのUSBメモリーにまとめて下さい。
- 作品(審査用ならびにバックアップ用)・番組進行表は、作品ごとに封筒に入れて提出して下さい。封筒の表面には参加部門名、学校名、作品名を明記して下さい。

以下は、ラジオ部門・テレビ部門の各規定です。

### [ラジオドキュメント部門]

- ① ラジオドキュメント部門では6分30秒以上7分以内でまとめます。
- ② 作品の最後には「制作は〇〇高等学校(放送部・放送委員会等)でした。」というクレジットコールを入れます。クレジットコールには、クレジットコール以外の音声(BGM・SEなど)を入れないこと。
- ③ 計時は最初の音から、クレジットコールの終わり(……でした)までとします。
- ④ ラジオ部門の作品は、CD-DA形式(音楽CDと同じ形式)で録音されたCD-Rで提出します。審査用ならびにバックアップ用を上記のメディア・形式で提出して下さい。
- ⑤ CD-Rには、校内放送研究163号様式4に必要事項を記入したものを、レーベル面に印刷して下さい。(様式4はコンテストホームページよりダウンロードします。)

## 【テレビドキュメント部門】

- ① テレビドキュメント部門では7分30秒以上8分以内でまとめます。
- ② 作品の最後には、「制作 ○○高等学校(放送部・放送委員会等)」のような、クレジットを入れます。
- ③ 作品の前後には 5秒ずつ、様式3(校内放送研究163号)のテストパターンを入れます。テストパターンはコンテストホームページからダウンロードします。テストパターンを改変してはいけません。テストパターンのアスペクト比は作品のアスペクト比に合わせる。
- ④ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとします。
- ⑤ テレビ放送番組等の再録を主体としたものは認めません。
- ⑥ テレビ部門の作品は、DVD-VIDEO形式(NTSC規格、アスペクト比4:3か16:9)で録画されたDVD-R(メニューは付けない)で提出します。審査用ならびにバックアップ用を上記のメディア・形式で提出して下さい。
- ⑦ DVD-Rには、校内放送研究163号様式4に必要な事項を記入したものを、レーベル面に印刷して下さい。(様式4はコンテストホームページよりダウンロードします。)

## (2) 創作ドラマ部門 (ラジオ・テレビ各部門)

- 脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。  
(文芸作品などからの脚色や改作は認めません。)
- 出演者は自校生徒に限ります。
- ラジオ部門・テレビ部門とも8分以内でまとめます。
- 各1部門に1校1作品の参加とします。創作ラジオドラマ部門・創作テレビドラマ部門のそれぞれに参加することができます。(最大1校2作品)
- ラジオ部門・テレビ部門の作品規定時間以外の各規定は、前頁のドキュメント部門を参照して下さい。
- 番組進行表(A4用紙、両面印刷はしない、左上を綴じる)を2部提出します。番組進行表は校内放送研究163号様式2-1~2-4に従って作成して下さい。(様式2はコンテストホームページよりダウンロードします。ホームページには、番組進行表の詳しい書き方も掲載されています。)
- 制作意図、あらすじを入力したデータをUSBメモリーに記録して提出して下さい。複数の作品を提出する場合は、データ等を1つのUSBメモリーにまとめて下さい。
- 作品(審査用ならびにバックアップ用)・番組進行表は、作品ごとに封筒に入れて提出して下さい。封筒の表面には参加部門名、学校名、作品名を明記して下さい。

**提出物確認一覧** 提出前に確認をし、チェック欄に○を付けて下さい。

部 門 名	提 出 物	提出日	チェック欄
研究発表 部門	参加申込書 [添付メール]	5月30日まで	
	研究発表要旨 : A4用紙 2部	6月9日	
	研究発表要旨エクセルデータ [USBメモリー]	6月9日	
	番組進行表(研究発表用) : 様式2-1~5	6月9日	
アナウンス 部門 朗 読 部門	参加申込書 [添付メール]	5月26日まで	
	原稿 : A4用紙2つ折 2部	各予選日	
ドキュメント 部門 (ラジオ・テレビ)	参加申込書 [添付メール]	5月30日まで	
	作品(審査用とバックアップ用) 計2本	6月9日	
	番組進行表 : 様式2-1~4	6月9日	
	制作意図のデータ [USBメモリー]	6月9日	
創作ドラマ部門 (ラジオ・テレビ)	参加申込書 [添付メール]	5月30日まで	
	作品(審査用とバックアップ用) 計2本	6月9日	
	番組進行表 : 様式2-1~4	6月9日	
	制作意図とあらすじのデータ [USBメモリー]	6月9日	

\* 研究発表ならびに複数の番組作品を提出される場合は、研究要旨データ、制作意図データ、あらすじデータを1つのUSBメモリーに保存して提出して下さい。

**番組部門提出作品・番組進行表 確認表** 提出前に確認をし、チェック欄に○を付けて下さい。

部 門 名	規定時間	作 品		番組進行表				
		テストパター ン前後 5秒	クレジット (コール、タイトル)	表紙	CUE シート	著作物 一覧	許諾 申請	許諾 書類
ラ ジ オ	ドキュメント部門	6分30秒~7分						
	創作ドラマ部門	8分以内						
テ レ ビ	ドキュメント部門	7分30秒~8分						
	創作ドラマ部門	8分以内						

\* 使用著作物一覧表では、著作権処理が不要なものには、番号に○を付ける。

## 2. 著作権処理について

- (1) 作品に使用した著作物(音楽・効果音・新聞・書籍・美術品・写真など)については、著作物権利者ならびにJASRACなどを通して著作権の処理が必要です。著作権処理は校内放送研究163号を熟読し、各校で責任をもって確実に行って下さい。
- (2) 作品は審査用とバックアップ用の両方を提出して頂きます。JASRACの録音利用申込書・明細書及び映像ソフト録音利用申込書・明細書については、審査用の申請とバックアップ用の申請が必要になります。手続きの上、許諾番号を作品(審査用・バックアップ用)と番組進行表に記入(審査用・バックアップ用の両方の許諾番号)し、録音利用許諾書及び映像ソフト録音利用許諾諸(審査用・バックアップ用の両方)の写しを台本に1部 添付して下さい。
- (3) 自作・自演して自分たちで録音・録画した音源などの著作物に関しては、著作権処理は不要です。

- (4) 著作権フリーの場合、著作権処理不要(使用条件)を示した部分の写しを、台本に1部添付して下さい。  
(アーキー「School Life シリーズ」・EX インダストリー「著作権フリー音楽 CD」は、使用条件の添付は不要です。)
- (5) インターネット上などでダウンロードした音源(著作権フリーと称されているものも含む)の使用は禁止します。また、携帯電話などの着メロ・着うたなどの使用も禁止します。
- (6) レンタル店、図書館などから借りた音源の使用は禁止します。
- (7) NHK クリエイティブ・ライブラリー(<http://www.nhk.or.jp/creative/>)で公開されている素材、効果音などが使用できます。使用する場合は、使用許諾は必要ありません。また、このコンテストでの使用に限り、作品内で「NHK クリエイティブ・ライブラリー」と表示する必要はありません。
- (8) 市販の CD などの音源を利用する場合、著作隣接権の処理が必要になります。校内放送研究 163 号様式 2-4 などを利用し、著作隣接権の所有者(レコード会社など)が指定する方法で、音源使用の許諾を受けて下さい。様式 2-4 などの申請書並びに音源使用許諾を証明する書類の写しを台本に 1 部 添付して下さい。(アーキー・EX インダストリーは不要です。)
- (9) 音楽以外の著作物を利用する場合でも、関係権利者・団体から使用許諾を受けて下さい。使用許諾を証明する書類の写しを台本に 1 部 添付して下さい。
- \* JASRAC(日本音楽著作権協会)が管理する楽曲の検索、録音利用申込書(新譜用)・録音利用明細書のダウンロード、映像ソフト録音利用申込書(新譜用)・映像ソフト録音利用明細書のダウンロードは、JASRAC ホームページ(<http://www.jasrac.or.jp>)をご確認下さい。
- \* 著作権処理は校内放送研究163号を熟読し、各校で責任をもって確実に行って下さい。